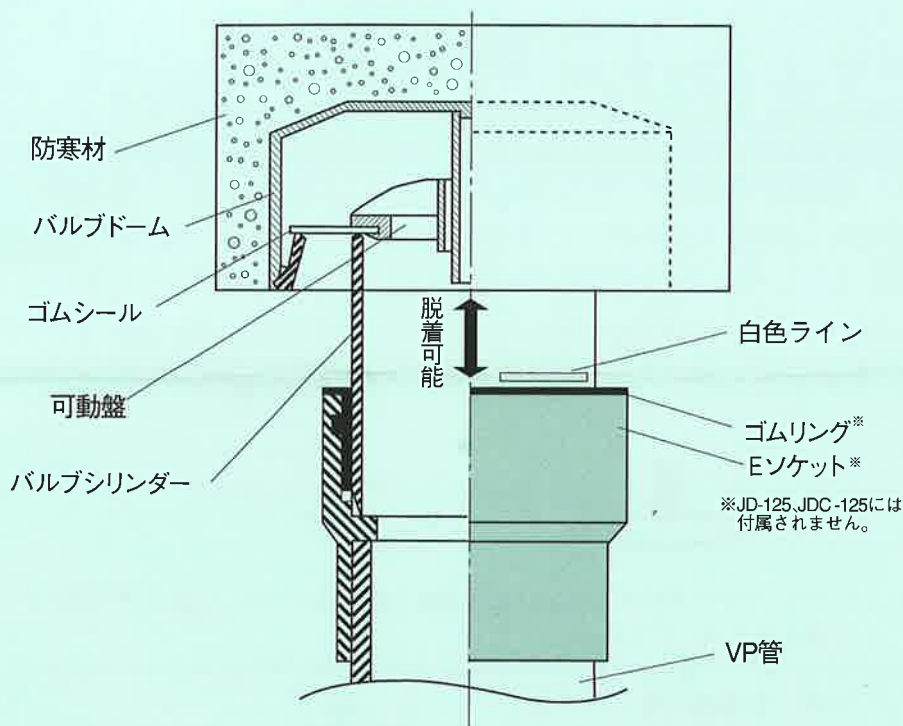
# ドルゴ通気弁取扱説明書（共通）

―――― 施工する前に必ずお読み下さい。――――

JDE-40～100断面図

| 用途 | Eソケット付 | Eソケットなし |
|---|---|---|
| 屋内設置用 | JDE-40～100 | JD-125 |
| 屋外設置用 | JDEC-40～100 | JDC-125 |

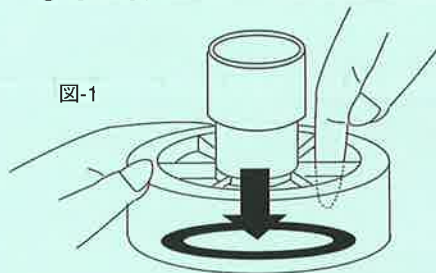
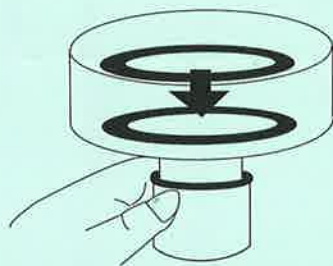
**Morinaga Engineering**

## ★ 設置前にチェックを !!

**通気弁を取り付ける前に、ポリ袋から商品を取り出し、必ず次のことを確認して下さい。**

(1) 表紙の図のように、全ての部品がセットされていますか。
　※屋外設置用には、アルミニウム製のトップカバーが付属されています。
　※Eソケットなしタイプには、Eソケット、ゴムリングが付属されません。

(2) Eソケットのゴムリング内に通気弁のバルブシリンダーが正しく装着されていますか。白色ラインがゴムリングの真上で平行になっていることを確認して下さい。(Eソケットなしタイプを除く。)

(3) 図のように、弁がスムースに動くことを確認して下さい。
　○通気弁を逆さにして、指で弁を軽く押して弁がバルブドーム内に落ちることを確認する。(図-1)
　○また、通気弁を垂直に立てて、弁が弁座に落ちることを確認する。(図-2)
　○その時、ゴムシールが弁座に接触し、隙間がないことを確認して下さい。

(4) 上記のチェックで異常が認められた場合は、お手数ですが、仕入れ先へ連絡して商品を交換して下さい。

**⚠ 注意　全機種共通**
**ゴムシール面にゴミが付着すると臭気モレが発生することがあります。取付直前まで梱包から出さずに、ゴミ・ホコリ等がゴムシール面に付着しないようご注意下さい。**

**⚠ 注意　Eソケット付タイプのみ**
**保守・点検や商品の交換時以外、通気弁をEソケットから取り外さないで下さい。不必要に通気弁を取り外したり、分解した後に異常が発生した場合は、弊社では責任を負いかねます。**

**⚠ 注意　全機種共通**
**正圧区域には、設置しないで下さい。**

## ★垂直に取り付けて!!

**横向きや斜めに設置すると、ドルゴ通気弁は正常に作動しませんので、必ずほぼ垂直に取付けて下さい。**

図-3-1

### Ⓐ Eソケット付タイプ (40～100A)

### (1) 塩ビ管に接続する場合

排水用硬質塩ビ管(VP管)とEソケット部を確実に接着固定して下さい。(図-3-1)

### (2) 鋳鉄管や鋼管に接続する場合

市販の継手(鋼管用アダプターなど)を使用して、塩ビ管(VP管)を接続し、その塩ビ管とEソケット部を確実に接着固定して下さい。(図-3-2)
MD継手やゴムリング継手を用いる場合も必ず塩ビ管(VP管)を接続した上で、その塩ビ管とEソケット部を接着して下さい。

図-3-2

### Ⓑ Eソケットなしタイプ (125A)

市販のDVソケットを使用して、通気弁本体と塩ビ管の2ケ所を必ず接着固定して下さい。(図-4)
また、鋳鉄管や鋼管に接続する場合は、図3-2をご参照下さい。

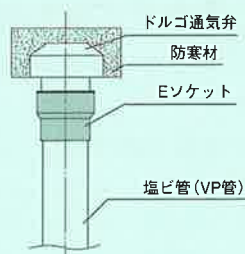
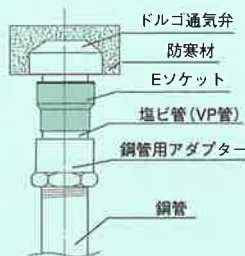
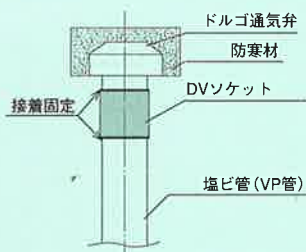
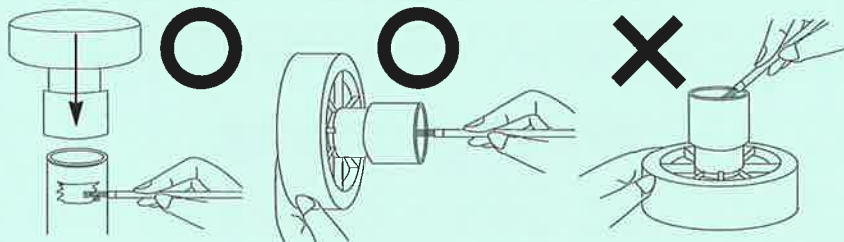



図-4

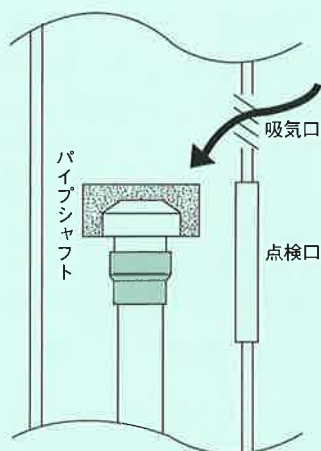
### ⚠注意　全機種共通

**接着剤を塗布する際は、なるべく塩ビ管(VP管)に接着剤を塗って下さい。
Eソケット部に塗布する場合、通気弁内部に垂れないよう十分にご注意下さい。**

## ★ 点検口はありますか!!

ドルゴ通気弁は点検・保守・交換ができる場所に設置して下さい。パイプシャフトや天井裏に設置する場合は、必ず点検口(450×450mm以上)を近くに設けて下さい。(図-5)

図-5

## ★ 吸気口はありますか!!

ドルゴ通気弁は空気の流入がスムースな場所に設置して下さい。
密閉度が高く、容積の小さなパイプシャフトなどに設置する場合は空気の取入口(吸気口)を設けて下さい。(図-5)

### ●通気ギャラリやベントキャップを使用する場合

吸気口に市販の通気ギャラリやベントキャップを使用する場合、「通気管と同サイズ」の商品を使用して下さい。

## ★ 白色の防寒材は捨てないで!!

○白色の発泡ポリスチレンの防寒材は、結露防止や凍結防止に効果がありますので、寒冷地に限らず装着したままご使用下さい。
○発泡ポリスチレンの防寒材が胴縁等の壁材に接触する場合は防寒材を一部カットして確実に離して下さい。(図-6)

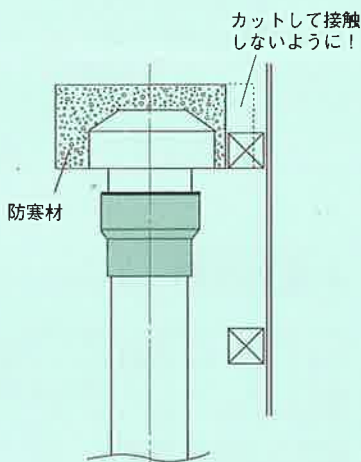
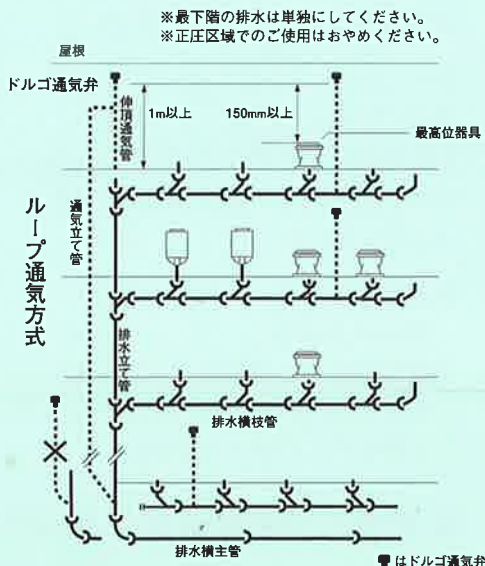
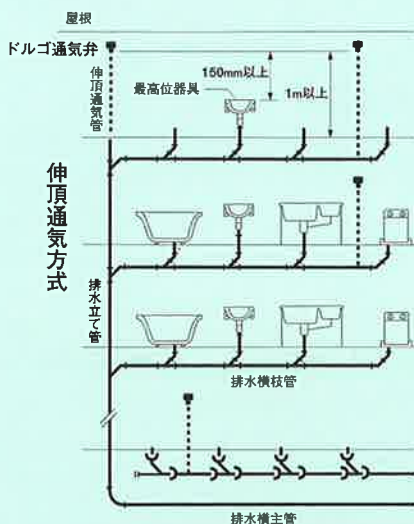



図-6

**⚠注意　全機種共通**
**高圧洗浄を行う際は、必ず通気弁本体を外し、メクラキャップ等でフタをしてから作業を行って下さい。作業終了後は元通りに復旧して下さい。**

## ★ ドルゴ通気弁の取付位置

●ドルゴ通気弁を排水立て管の頂部に設置する場合、床面より1m以上で、かつ最上階における最高位の器具あふれ縁より150mm以上の高所に設置します。

●ドルゴ通気弁を排水横枝管に設置する場合、通気管の取出し位置は最上流の器具排水管を排水横枝管に接続した直後の下流側とし、その階における最高位の器具あふれ縁より150mm以上の高所に設置します。

## ★ 屋外設置 JDEC-40～100、JDC-125

ドルゴ通気弁は屋内に設置することを推奨しておりますが、ルーフバルコニーや軒下に通気管を出し、臭気対策用にドルゴ通気弁を屋外設置する場合、直射日光による劣化を極力防止するため、アルミニウム製の直射防止カバーを装備した屋外設置用ドルゴ通気弁を用意しています。

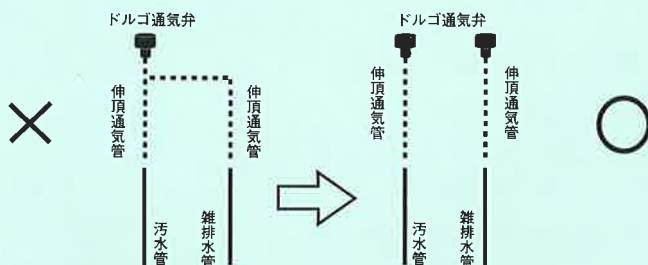
### 施工上の注意事項

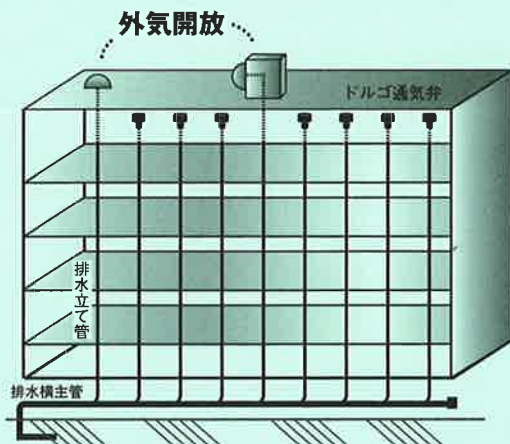
●屋外設置は屋内に比べ自然環境も厳しく、ゴミかみや劣化が心配されますので、保守点検やメンテナンスが容易に出来る場所に設置してください。

●寒冷地では、凍結による作動不良が予想されますので、屋外には設置しないでください。

●防水継手に接続する場合は、必ずVP管を使用し、継手との隙間は必ずコーキングしてください。

## ★ 排水立て管が複数本ある場合には…

排水立て管が複数本ある場合、伸頂通気管ごとにドルゴ通気弁を設置し、通気ヘッダ方式には使用しないで下さい。衛生害虫(羽虫)がゴムシール部に付着し、臭気モレの原因となることがあります。

## ★ 排水立て管6本に対して1本は外気開放に !!

正圧緩和対策として、以下のように外気開放を設けることをおすすめします。

この施工説明書の他に、パンフレットや技術資料等も準備しておりますので、併せてお読み下さい。又、ご不明な点はお気軽にお問い合わせ下さい。

**森永エンジニアリング株式会社**

住宅機器販売部

| | | | |
|---|---|---|---|
| 本　　社 | 東京都港区港南3-8-1 | 〒108-0075 | ☎(03)5796-9803 |
| 札幌営業所 | 札幌市中央区南1条東1丁目 | 〒060-0051 | ☎(011)251-9811 |
| 仙台営業所 | 仙台市若林区河原町1-6-23 | 〒984-0816 | ☎(022)265-2622 |
| 大阪営業所 | 大阪市中央区東高麗橋4-3 | 〒540-0039 | ☎(06)6945-5644 |

ホームページ http://www.morieng.co.jp

1207-10D-AL